

## モンゴル

### 2001年上半期の経済

上半期のモンゴル経済は、プラスとマイナスの要因が同程度入り混じっている状況と言える。プラス要因としては、鉱工業部門と牧畜業を除く農業部門の堅調である。特に工業部門は第1四半期の好調がそのまま維持されている。また、国家財政は歳入が伸び財政赤字が大幅に改善されている。一方、マイナス要因としては、雪害の影響による家畜頭数の大幅な減少、食料品を主因とする物価の上昇、主要な家畜関連商品の輸出額の減少、失業者の増加である。鉱工業部門の生産性が下がっていることも気になる。北東アジアとの貿易では、北東アジアのすべての国への輸出は減少したが、中国、ロシア、北朝鮮からの輸入は増加した。

### 国内経済：工業部門は第1四半期の好調を維持

上半期の鉱工業生産額は、鉱業部門と工業部門の双方で増加し、全体として前年同期比で5.3%増となった。鉱業部門における主要な非鉄金属の生産量は、蛍石を除いて金、モリブデン、銅は増加し全体の生産額は3.5%増であった。工業部門は第1四半期からの好調が維持されており、生産額は7.3%増となった。食品・飲料製造業は21.2%増、衣料品製造業が11.1%増である。

牧畜業への雪害による被害は深刻であった。上半期の成体家畜の損失頭数は、417万頭で、前年の同期と比較すると128万頭の増加である。雪害のなかった1999年と比較すると約4倍の家畜を失っていることになる。この数は、年初の全家畜頭数の14%にあたる。また、雌の成体家畜と幼体家畜の双方の数もここ3年間の上半期で比較すると最低となっており、来年への影響も懸念される。一方、農業関連の指標をみると、6月末の総作付面積は前年比5.7%増となり、生産量はジャガイモが19.8%増、野菜が6.9%増、家畜用の飼料は3倍となっている。

物価は、年初から5月にかけて上昇し続け6月に若干下がったものの、上半期末には前年末比で11.5%増となった。この物価の上昇の最大の要因は食料品価格の上昇であり、前年末と比較して21.7%増となっている。羊肉は88.1%増、

牛肉が68%増、ジャガイモが44.2%増となっている。その他には電気料金の30.7%増が目立つ。また、ウランパートルにおける家畜製品の6月の平均市場価格は、前年同月比で羊の皮が2.4倍となる一方、梳毛カシミアは36%下がっている。

失業者数は6月末で約4万千人で、昨年末比で2千人増であるが3月末比では千人減となっている。上半期で新たに登録された失業者は1万7千人となり、前年同期比77%増となっている。鉱工業部門の労働生産性(従業員1人当たりの総生産額)は下がっており、前年同期比で8.8%である。その内訳をみると、鉱業部門が3.5%増、製造業部門が15.1%減、電気・熱・水供給部門が1.1%減となっている。

国家財政は、前年同期と比較すると歳入が49%増、歳出が6%増となり、財政収支は19億トグリクとなり大幅に赤字が改善されている。歳入面では、所得税、商品・サービス税、海外からの援助金が大きく伸びている。

### 対外経済：輸出入とも減少

貿易は、輸出と輸入の双方で低調である。輸出額が1億5,640万米ドルで25.4%、輸入額が2億3,770万米ドルで9.3%となり、貿易収支は8,130万米ドルの赤字となった。貿易赤字は前年同期よりも2,900万米ドル増加している。金額ベースによる主要な輸出品目の動向は、鉱物性生産品が10%、繊維・繊維製品は37%、皮革・毛皮製品が57%となっている。皮革・毛皮製品である牛の皮革は97.8%、梳毛カシミアは99.1%となっている。主要な輸入品目の動向としては、鉱物性生産品が31%増、動物・動物性生産品が131%増となる一方、機械類・電気機器は30%となっている。

北東アジア諸国との貿易動向をみると、輸出額では、中国が32%、ロシアが30%、日本が18%、韓国が4%となっている。輸入では、中国が0.4%増、ロシアが4%増、日本が44%、韓国が3%、北朝鮮が130%増となっている。

(前ERINA調査研究部研究員 浜田充)

	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	01年1-3月	01年1-6月
鉱工業生産額(前年同期比:%)	2.5	4.4	3.2	1.3	2.4	0.1	5.3
消費者物価上昇率(対前年比:%)	44.6	20.5	6.0	10.0	8.1	10.4	11.5
国内鉄道貨物輸送(百万トンキロ)	1,241.4	1,204.0	1,273.6	1,346.3	1,457.5	426.9	2,567.0
失業者(千人)	55.4	63.7	49.8	40.1	38.6	41.9	40.8
対ドル為替レート(トグリク、期末)	693.5	813.2	902.0	1,072.4	1,097.0	1,097.0	1,097.0
貿易収支(百万USDドル)	26.6	16.8	158.1	154.5	141.9	35.0	81.3
輸出(百万USDドル)	424.3	451.5	345.2	358.3	432.3	68.1	156.4
輸入(百万USDドル)	450.9	468.3	503.3	512.8	574.2	103.1	237.7
国家財政収支(十億トグリク)	48.3	65.1	97.5	85.0	62.7	5.9	1.9

(注) 失業者数は期末値。消費者物価上昇率は各年12月、2001年は各期末値。貨物輸送、財政収支は年初からの累積値。  
(出所) モンゴル国家統計局、「モンゴル統計年鑑1999」、「モンゴル統計月報2001.6」